

原子力委員会「核融合研究開発基本問題検討会」からの御質問に対する回答

御質問：技術継承の上では、核融合であればどんなものでも、ある程度の規模のプロジェクトが進んでいけば対応できるものなのか。ある程度スペシファイされたものでお願いしないといけないか。

回 答：日本として維持・継承していく必要がある核融合技術には、①全ての炉型に共通するキーテクノロジー、②個別炉型に依存するキーテクノロジーの2つがあり、産業界としてはこれら両方についてモノ作りの観点から維持・継承すべき技術があると考えています。

御質問：技術者として経験を積むという意味では、小型装置を纏めることや、ちょっとした失敗をすることは後で役に立つが、産業界として小型装置は必要なのか、それとも作ってみてトライ&エラーを行う必要があるのか伺いたい。

回 答：産業界としては、モノ作りを経験する上では大型装置でも小型装置でも極めて重要なことと考えています。いずれの場合でも、モノ作りにおいてはトライ&エラーから学ぶことも重要と考えています。

御質問：ITERについて産業界は「構造仕様に基づいて製造する立場」と書かれているが、産業界はこれでよしとされているのか、或いは産業界も機器仕様やシステム設計に入っていないとITERが良くならない、良くするためにはメーカーがもっと入っていないといけないと思っているのか伺いたい。

回 答：ITERをより良くするためには、産業界を含めてモノ作りの観点から必要な議論を早急に行う必要があると認識していますが、ITERについては、今後、関係者で協議する場が別途設けられると聞いておりますので、そこで議論させて頂くことを考えております。

以 上